

## CRF150R CRF150R II | はじめに

モトクロスレースでは、2000年の車両レギュレーションの改定によって、4ストロークエンジンが主流になっています。Hondaは、4ストロークモトクロスマシンとして2001年にCRF450Rを新発売。2003年にCRF250Rの発売を開始しました。小排気量クラスにおいては、2007年からFIMが主催するレースで、2ストローク・85ccクラスに4ストローク・150ccマシンでのエントリーが可能になりました。Hondaはいち早くこのレギュレーションに適合させるために、CRF250RとCRF450Rで培ったノウハウを基にCRF150R、CRF150R IIを新開発し、2006年に発売を開始しました。以降、軽量・コンパクトな車体やパワフルなエンジン出力など総合性能の高さが、世界各地のモトクロスユーザーの高い支持を得ています。

レースにおいては、MFJ 全日本モトクロス選手権のレディースクラスで、CRF150R IIを駆る益春菜選手(SEKI Racing Moto Roman & KBF-RS)が2008年、2009年、2010年の3年連続チャンピオンを獲得。今シーズンも、第4戦まで4戦連続優勝を飾るなど、総合性能の高さを証明しています。

### ■第3戦 わっさむサーキット(益春菜選手)



### ■第4戦 藤沢スポーツランド(益春菜選手)



2012年モデルは、2006年の発売以来初めてエンジンに大幅な変更を施すとともに、車体にも進化が図られています。よりパワフルに、そして高い走破性と戦闘力を獲得することで、幅広いオフロードユーザーに操ることの楽しさを提供してまいります。